

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月21日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901936		
法人名	医療法人社団 旭豊会		
事業所名	グループホーム ライラック		
所在地	北海道旭川市永山4条6丁目2番2号 (電話) 0166-40-3880		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年9月19日	評価確定日	平成19年9月26日

【情報提供票より】(平成19年6月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年11月10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 8人, 非常勤 13人, 常勤換算	12人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	1 階建ての	~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要(6月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	7 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 80.8 歳	最低	68 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川三愛病院、永山歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体医療法人を中核として、総合複合施設の中で地域に密着した活動が長く医療とケアサービスに充実したグループホームであり、家庭的雰囲気を持っている。中庭には、ベンチや椅子が配置され日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されていると共に車椅子に対応した歩道が整備され茄子やトマトなどの野菜が栽培されたり職員と利用者が一緒になって田植えをした稲穂が実っている。また、ホーム独自の家族アンケートを数年前より実施して、そこでの意見や要望について改善策が講じられケアサービスの質の向上に取り組んでいる。町内会や地域の行事に参加したり運営推進会議の開催などで、地元の人々との交流も盛んに行われている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では注意の必要な物品の管理について改善点としてあげられていましたが、薬や洗剤、刃物等の注意の必要なものについては、保管場所、保管方法を明確に取り決めその通り実行されていることが確認できました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 法人及び管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しています。また、自己評価は全ての職員が参加して取り組まれ、新たな気付きや研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在2回実施されています。その議題についてはグループホームの説明(地域密着型サービスについて) 災害対策について ホーム主催の年間行事予定について 地域行事への参加について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月「日常生活のお便り」をそれぞれの家族に発行して、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、ホーム行事参加の様子、職員の紹介及び金銭出納などの報告を行っている。また、ホーム独自の家族アンケートの実施や運営推進会議などを通じて、家族や地域の人達の意見や不安・苦情など受け付けて改善策を職員で話し合いケアサービスの質の向上に取り組まれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の祭りや盆踊りなどが近接する母体医療法人の敷地内で開催される為、日頃より地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、外食、ボランティアの受け入れや母体法人主催の行事への参加など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念をもとに、方針を明確に文書化し、具体的な目標を設定してその達成度について評価している。また、評価結果について具体的改善策が実行されている。		母体医療法人を中心として、グループホームも国際標準規格であるISO9001品質マネジメントシステムを認証取得している。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人及び管理者、職員は理念を共有して、それを達成するために具体的な目標を掲げその達成度について話し合わせフォローアップされている。P-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みが整っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	母体医療法人を中核とした、総合複合施設の中のグループホームであり、近接する法人の敷地内で地域の祭りや盆踊りが実施されるなど日頃より地元の人々との交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	法人及び管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しています。また、自己評価は全ての職員が参加して取組まれ、新たな気付きや研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在2回開催されている。メンバーは利用者、家族、地域の住民代表・役員、包括支援センター、管理者・職員で構成され活発な意見交換が行われ具体的に改善に取り組んでいることが議事録で確認できた。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市担当者との連携の重要性について理解して日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、講習会の実施などでより一層、市担当者との連携ができるように計画されています。</p>
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「日常生活のお便り」をそれぞれの家族に発行して、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、ホーム行事参加の様子、職員の紹介及び金銭出納などの報告を行っている。</p>		<p>ホーム独自の家族アンケートの実施や運営推進会議などを通じて、家族や地域の人達の意見や不安・苦情など受け付けて改善策を職員で話し合いケアサービスの質の向上に取り組まれています。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果について運営推進会議で報告して意見を聞く機会を作ったり、家族が来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる体制が整備され、それらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職や異動はごく少なく利用者と職員の安定した関係が築かれている。また、運営者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>母体医療法人が中心となって教育訓練の年間計画が立案されている。また、内部・外部の研修を奨励して参加者の報告会でフォローアップされ有効性が評価されている。</p>		<p>感染症予防や口腔ケアについて内部研修が実施されている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会・研究会での他施設との積極的な交流など開かれたグループホームである。また、ネットワークで相互訪問などケアサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		<p>今後は、職員も他施設の訪問がさらに出来るように検討されている。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>中庭には、ベンチや椅子が配置され日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されていると共に車椅子に対応した歩道が整備され茄子やトマトなどの野菜が栽培されたり職員と利用者が一緒になって田植えをするなど支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>買い物で金銭を使う場面を見出したり、ドライブなど外出の機会を多く作ったり習字や紙細工、ぬり絵、畑作業など趣味への支援や食事の準備や後片付けなど本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		<p>生活歴のさらなる把握の為に、センター方式の一部導入がされているので今後は、徐々に導入を進めていくことを期待しております。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとにアセスメントに基づき介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、訪問マッサージの利用や馴染みの理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人や利用者それぞれの主治医・看護師との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても内科・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	母体医療法人と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなど支援されている。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの希望や思いを尊重して散歩や買い物、将棋や囲碁、ぬり絵などの趣味への支援や食事の準備や後片付けなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備や配膳、盛り付けなどを行っている。		利用者への嗜好調査のアンケートを行うなど、利用者の希望や要望など取り入れる取り組みが行われている。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週2回を目安に利用者の希望に応じて対応している。また、家族の要望などにも職員間で話し合われ入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみやテーブル拭き、花や畑での野菜の手入れ、カラオケ、将棋・囲碁、食事の準備、外食や買い物、気分転換のためのドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ラーメンや丼物などの外食、スーパーやコンビニでの買い物、散歩、動物園や白鳥見物、さくらんぼ狩りなど気分転換ができるように積極的に外出ができるように支援されている。また、家族も参加できるように声掛けなども行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鈴を付け鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員が見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスやカロリーについて法人内で研究発表をするなど、日頃より取り組みが行われている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広い廊下や居間では、花や観葉植物が多く飾られ生活感が感じられ落ち着いた雰囲気である。また、廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。中庭にも、ベンチや椅子が配置され畑作りや日光浴を楽しむことができ車椅子に対応した散策路が設けられている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、花や観葉植物、手作りの作品が飾られたり利用者一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。また、仏壇やテレビ・冷蔵庫などの使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。